

コロナワクチンに対する接種の受けられない対象

～（ファイザー社・バイオテック社）が出している資料より～

1. 明らかに発熱している者
2. 重い急性疾患にかかっている者
3. 本ワクチンの成分に対して重度の過敏症の既往歴のある者
4. 上記以外で、予防接種を受けることが不適當な状態にある者

1. 現時点で COVID-19 ワクチンのアナフィラキシー反応の原因とするものは、mRNA 自体というより賦形剤の影響が強いと考えられている。

COVID-19 ワクチンの賦形剤成分としては、ポリエチレングリコール 2000 がアナフィラキシー発症に寄与している可能性が考えられている。

従って、

2. 問題になるのが、3. 「本ワクチンの成分」⇒ポリエチレングリコール 2000 に対して重篤な過敏症を起こした既往のある人をスクリーニングで見つけ出す必要があることと考える。

⇒言い換えると、ポリエチレングリコール 2000 に対する過敏症の疑い以外の対象（例えば食物によるアレルギー・アナフィラキシーを起こした対象など）では、COVID-19 ワクチン接種は注意深い観察の上、接種可能と考えてよいことになる。

⇒risk and benefit のバランスになるが、集団免疫を作り、早く COVID-19 パンデミックを終わらすためには、対象者があることでワクチン接種に消極的になってしまう人をなるべく少なくした方が良く考えた方が良くと思われる。（これまでの臨床試験の結果から接種可能な対象を選択していく必要がある）

3. Banerji A, et al. J Allergy Clin Immunol Prac 2021 の論文に詳細が記載されている

論文の中 (Figure 2) では、

1. これまで注射製剤で重篤なアレルギー反応を起こした既往があるか？
2. これまでワクチンを打って重篤なアレルギー反応を起こしたことがあるか？
3. 注射・ワクチン以外（食べ物、ラテックス、経口薬など）で重篤なアレルギー反応を起こしたことがあるか？
4. これまでにポリエチレングリコール、ポリソルベート、ポリオキシリル 35 オイル（パクリタキセルなど）含有の注射薬やワクチンで急性（4 時間以内）または重篤なアレルギー反応を起こしたことがあるか？

重篤なアレルギー反応；

原因となるものを接種・投与して 4 時間以内に蕁麻疹、腫れ（口内、口唇、舌、喉など）、息切れ、喘鳴、胸部絞扼感、低血圧、意識消失の症状を生じた場合

上記のうち、

1－3があっても、慎重投与⇒COVID-19 ワクチン投与後 30 分の観察

4がある場合には接種を避ける方が良い

という方針となっている。

4. 現時点で言えることとして

問診で注射・薬剤・食物によるアレルギー反応を起こしたことがあるかを聞く必要があり、「はい」と答えた人は接種後 30 分の観察、「いいえ」と答えた人は 15 分の観察でよいと考える。

更に、もう一つの問診で、注射薬、内服薬、ワクチンで重篤なアレルギー反応を起こしたことがある人は（重篤でなければ接種可能と考える）、薬剤名を確認し、「疑わしい」または「不明」の対象に対しては、接種を控えるようにするのがよいかもしれないと考える。